

平成30年7月19日

各位

横浜市都筑区仲町台三丁目12番1号
株式会社 ソディック
代表取締役社長 古川 健一
電話 045-942-3111 (代)
(東証第一部 コード 6143)

新製品 高速造形対応“金属3Dプリンタ” 「LPM325」の開発および発売のお知らせ

この度弊社では、多様化する金属3Dプリンタの要求に対応するため、新製品“金属3Dプリンタ”「LPM325」を開発し、2018年11月より発売を開始いたします。

「LPM325」は、金属粉末の熔融凝固による3D造形加工と、造形した加工物への基準面加工を1台の機械で行う金属3Dプリンタのエントリーモデルであり、弊社 金属3Dプリンタ製品のラインナップに追加いたします。

ソディックグループが所有する要素技術により、金属3Dプリンタのエントリーモデルとして要求される高速金属3D造形と基準面加工の複合加工を実現することに成功しました。

本製品は、「第29回日本国際工作機械見本市（JIMTOF2018）」（2018年11月1日～11月6日：東京ビッグサイト）への出展を予定しています。

●開発の経緯と概要

弊社は2014年10月より精密金属3Dプリンタ「OPM250L」を販売してきました。OPMシリーズは、金属粉末を熔融凝固させる精密金属3D造形から仕上げの切削加工までを完全自動で行う、業界初の「ワンストップ・ソリューション」を実現した精密金属3Dプリンタのハイエンドモデルです。

新製品「LPM325」は、金属3D造形と二次加工用の基準面だけを加工する機能に限定することで、造形速度の大幅向上に成功した、高速金属3Dプリンタのエントリーモデルです。

●「LPM325」の特長

1. 金属粉末の熔融凝固と、基準面加工を1台の機械で行う複合加工機。
「LPM325」は、金属粉末をレーザー光でスキャンすることにより熔融凝固させ、その後、基準面加工を行う複合加工機です。
2. 機電および周辺機器一体構造の省スペース設計
コンパクトな基準面加工装置を搭載することで、機電および周辺機器を一体構造とし省スペースを実現しました。それにより機械据付期間の短縮と簡略化を可能とし、機械移動を容易にしました。
3. 造形速度大幅向上
造形室内の容積を大幅縮小することに成功し、さらにレーザー加工時に発生するヒューム回収方法を最適化することで、高品質での造形速度向上を実現しました。
4. 造形室内の粉末処理作業改善
造形室内での粉末処理の作業改善のために粉末吸引装置を標準搭載しました。
5. グローブドア仕様Option対応
造形中に扉を開けなくても粉末処理できるグローブドア仕様をOption対応しました。
6. 粉末自動供給装置を2種類Option化
粉末自動供給装置（MSU）と粉末自動供給自動排出装置（MRS）の2種類を選択できるようにしました。
7. 自社開発・製造 新型NC装置「RM4RP」を採用。
自社開発・製造の新型NC装置「RM4RP」は、マニュアル動作の各ボタンをわかりやすく配置するなど、作業者にやさしい操作環境を提供します。

●「LPM325」の主な仕様

- ・最大造形物寸法（幅×奥行×高さ）：250×250×250 mm
- ・最大積載質量：120 kg
- ・レーザー最大出力：500 W
- ・機械寸法：1630×2530×2020 mm（周辺機器含む）

●販売予定価格（税抜き）および生産目標台数

- ・LPM325 標準価格 3,700万円～（税抜き）
- ・LPM325 生産目標台数 50台/年

● 「LPM325」の外観



以上